

---

# I N F O R M A T I O N

---



AOBADAI FORUM

# 宿泊約款 青葉台フォーラム

## （適用範囲）

第 1 条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）または一般に確立された慣習によるものとします。

2 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

## （宿泊契約の申込み）

第 2 条 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金（原則として別表第 1 の基本宿泊料による。）
- (4) その他当ホテルが必要と認める事項

2 宿泊客が、宿泊中に前項第 2 号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

## （宿泊契約の成立等）

第 3 条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3 日を超えるときは 3 日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。

3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第 6 条及び第 18 条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第 12 条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4 第 2 項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払い期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

## （申込金の支払いを要しないこととする特約）

第 4 条 前条第 2 項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第 2 項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

## （施設における感染防止対策への協力の求め）

第 4 条の 2 当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館

業法（昭和 23 年法律第 138 号）第 4 条の 2 第 1 項の規定による協力を求めることができます。

## （宿泊契約締結の拒否）

第 5 条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第 5 条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められたとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。

イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第 2 条第 6 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力

ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの

- (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (6) 宿泊しようとする者が、旅館業法第 4 条の 2 第 1 項第 2 号に規定する特定感染症の患者等（以下「特定感染症の患者等」という。）であるとき。
- (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号。以下「障害者差別解消法」という。）第 7 条第 2 項又は第 8 条第 2 項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。
- (8) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第 5 条の 6 で定めるものを繰り返したとき。
- (9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (10) 神奈川県旅館業法施行条例第 4 条の規定する場合に該当するとき。

## （宿泊契約締結の拒否の説明）

第 5 条の 2 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

## （宿泊客の契約解除権）

第 6 条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除

することができます。

- 2 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

#### （当ホテルの契約解除権）

- 第7条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
  - (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
    - イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
    - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
    - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
  - (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
  - (4) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
  - (5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。)
  - (6) 宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
  - (7) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
  - (8) 神奈川県旅館業法施行条例第4条の規定する場合に該当するとき。
  - (9) 喫煙所以外でのたばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規定の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
- 2 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

#### （宿泊契約解除の説明）

- 第7条の2 宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求め

ることができます。

#### （宿泊の登録）

- 第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- (1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
  - (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあっては、国籍及び旅券番号
  - (3) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が第12条の料金支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

#### （客室の使用時間）

- 第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後2時から翌朝11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- (1) 超過3時間(14:00)までは、室料金の30%
  - (2) 超過6時間(17:00)までは、室料金の50%
  - (3) 超過6時間(17:00)以降は、室料金の100%

#### （利用規則の遵守）

- 第10条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

#### （営業時間）

- 第11条 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備え付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等でご案内いたします。
- (1) フロントサービス時間  
イ フロントサービス 07:00～23:00
  - (2) 飲食等サービス時間  
イ 朝食 07:00～10:00 (L.O 9:30)  
ロ 営業時間 11:00～23:00 (L.O 22:00)  
(ランチタイム 11:00～14:00)
- 2 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

#### （料金の支払い）

- 第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。
- 2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 3 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

#### （当ホテルの責任）

第 13 条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2 当ホテルは、消防機関から適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

#### （契約した客室の提供ができないときの取扱い）

第 14 条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

#### （寄託物等の取扱い）

第 15 条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の申告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは 15 万円を限度としてその損害を賠償します。

2 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であって、フロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルに故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の申告がなかったものについては、15 万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

#### （宿泊客の手荷物又は携帯品の保管）

第 16 条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。

2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含めて 7 日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。

3 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあっては前条 1 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項の規定に準ずるものとします。

#### （駐車場の責任）

第 17 条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両キーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテル

の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

#### （宿泊客の責任）

第 18 条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

#### 別表第 1 宿泊料金の内訳

（第 2 条第 1 項及び第 12 条第 1 項関係）

		内 訳
宿泊客が 支払うべ き総額	宿泊料金	①基本宿泊料（室料）
	追加料金	②飲食料 ③その他利用料金
	税 金	イ 消費税 ロ 特別地方消費税

#### 別表第 2 （第 6 条第 2 項関係）

契約解除の通知を 受けた日		不 泊	当 日	前 日	9 日前
解約申込人数					
一般	14 名まで	100%	80%	20%	
団体	15 名以上	100%	80%	20%	10%

- （注） 1. %は、宿泊料金に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらずなく、1 日分（初日）の違約金を収受します。
3. 団体客(15 名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の 10 日前（その日より後に申込みをお引受けした場合にはそのお引受けした日）における宿泊人数の 10%（端数が出た場合は切り上げる。）にあたる人数については、違約金はいただきません。

# Terms and Conditions for Accommodation Contracts

## AOBADAI FORUM

### (Scope of Application)

- Article 1 Contacts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not provided for here in shall be governed by laws and regulations (means any laws or regulations. The same shall apply hereinafter.) and generally accepted practices.
- 2 In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such as special contracts does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

### (Application for Accommodation Contracts)

- Article 2 A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
- (1) Name of the Guest(s);
  - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
  - (3) Accommodation Charges (based, in principle on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1); and
  - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
- 2 In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

### (Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

- Article 3 A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
- 2 When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guests entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
- 3 The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparation under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
- 4 When the Guest has failed to pay the deposit by the date stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period the payment of the deposit is specified.

### (Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

- Article 4 Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
- 2 In the case when the Hotel has no requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph

2 of the preceding Article and has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as though the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

### (Request for cooperation in infection prevention measures at the facility.)

- Article 4-2 The Hotel may request cooperation from the Guest in accordance with the provisions of Article 4-2, Paragraph 1 of the Ryokan Business Law (Law No. 138 of 1948).

### (Refusal of Accommodation Contracts)

- Article 5 The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:

However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Ryokan Business Law.

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
- (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;
- (4) When the Guest seeking accommodation meets any of the following conditions (a) through (c):
  - (a) The Guest constitutes an organized crime group pursuant to article 2, item 2, of the Act for the Prevention of Wrongful Acts by Members of Organized Crime Groups (Law No. 77 of 1991) ( "Organized Crime Group" ), or a member of an Organized Crime Group ( "Organized Crime Group Member" ) pursuant to article 2, item 6, of the said act, or a quasi-member of an Organized Crime Group, or a person related to an Organized Crime Group, or any other form of organized crime;
  - (b) The Guest is a corporation or other association whose business is controlled by an Organized Crime Group or by an Organized Crime Group Member;
  - (c) The Guest is a corporation which has among its corporate officers a person who is an Organized Crime Group Member.
- (5) When the Guest seeking accommodation has engaged in conduct giving rise to substantial annoyance to other staying guests;
- (6) When the Guest is a patient, etc. of a specified infectious disease prescribed in Article 4-2, Paragraph 1, item 2 of the Ryokan Business Law (hereinafter referred to as "patient, etc. of specified infectious disease").
- (7) When the violent demanding acts are performed or the Hotel is required to assume an unreasonable burden in regard to his/her accommodations .(Excluding the case where the Guest requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7 Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2.(Act No. 65 of 2013, hereinafter referred to as "Disability Discrimination Law").)
- (8) When the Guest repeatedly makes a request to the Hotel that is so burdensome that it may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests, as stipulated in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Ryokan



Business Law.

- (9) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities or other unavoidable causes;
- (10) When the provisions of Article 4 of the Kanagawa Prefectural Ordinance concerning the enforcement of the "Ryokan" Business Law are applicable.

**(Explanation of refusal to enter into an Accommodation Contract)**

Article 5-2 A person who intends to stay at the hotel may request that the Hotel explain the reasons for its refusal to enter into an accommodation contract in accordance with the preceding article.

**(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)**

Article 6 The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.

- 2 In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in Attached Table No.2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest
- 3 In the case when the Guest does not appear by 8:00 p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival of the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being canceled by the Guest.

**(Right Cancel Accommodation Contracts by the Hotel)**

Article 7 The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases; However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Ryokan Business Law.

- (1) When the Guest is deemed liable to conduct and have conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to his accommodation;
- (2) When the Guest is found to meet any of the following conditions (a) through (c):
  - (a) The Guest is an Organized Crime Group, an Organized Crime Group Member, a quasi-member of an Organized Crime Group, or a person related to an Organized Crime Group, or any other form of organized crime;
  - (b) The Guest is a corporation or other association whose business is controlled by an Organized Crime Group or by an Organized Crime Group Member;
  - (c) The Guest is a corporation which has among its corporate officers a person who is an Organized Crime Group Member.
- (3) When the Guest has engaged in conduct giving rise to substantial annoyance to other staying guests;
- (4) When the Guest has a specified infectious disease.
- (5) When the Guest has acted violently in making a demand with regard to accommodation or has made a demand beyond reasonable scope; (Excluding cases where the Guest requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities.)
- (6) When the Guest repeatedly makes a request to

the Hotel that is so burdensome that it may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests, as specified in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Ryokan Business Law.

- (7) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and other causes of force majeure;
  - (8) When the provisions of Article 4 of the Kanagawa Prefectural Ordinance concerning the enforcement of the "Ryokan" Business Law are applicable;
  - (9) When the Guest smokes outside the designated smoking area, tampers with firefighting equipment, etc., or in other ways engages in matters prohibited (including but not limited to fire prevention provisions) under the Terms of Use of the Hotel.
- 2 In the case when the Hotel has canceled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.

**(Explanation of Accommodation Contract Cancellation)**

Article 7-2 In the event that the Hotel cancels the accommodation contract in accordance with the preceding article, the Guest may request an explanation of the reasons for such cancellation.

**(Registration)**

Article 8 The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of the accommodation:

- (1) The Guest's name, address and contact information.
  - (2) Nationality and a passport number if the Guest is a foreign citizen (We may take photocopy of the Guest's passport.)
  - (3) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
- 2 In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as travelers cheques, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of registration prescribed in the preceding Paragraph

**(Occupancy Hours of Guest Rooms)**

Article 9 The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 2:00p.m. to 11:00am. the next morning. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

- 2 The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
  - (1) Up to 3 hours 30% of the room charge;
  - (2) Up to 6 hours: 50% of the room charge;
  - (3) More than 6 hours: 100% of the room charge.

**(Observance of Use Regulations)**

Article 10 The Guest shall observe the Use Regulation established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

**(Business Hours)**

Article 11 The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided notices displayed in each place, service directions in guest rooms and others.

- (1) Service hours of front desk  
A Front service 07:00 23:00
- (2) Service hours (of facilities) for dining, drinking etc.

A Breakfast 07:00 10:00(L.O 9:30)  
 B Business hours 11:00 ~ 23:00(L.O 22:00)  
 (Lunch 11:00 ~ 14:00)

- The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

#### (Payment of Accommodation Charges)

- Article 12 The breakdown of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table No.1.
- 2 Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon requested by the Hotel.
- 3 Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided or him by the Hotel and are at his disposal.

#### (Liabilities of the Hotel)

- Article 13 The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and related agreements. However, the same shall not apply in cases when such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.
- 2 Even though the Hotel has received the "PASS MARK (Certificate of excellence of Fire Prevention Standard issued by the fire station). furthermore the Hotel is covered by the Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and other disasters.

#### (Handling When Unable to Provide Contracted Rooms)

- Article 14 The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.
- 2 When arrangement of other accommodation can not be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel can not provide accommodation due to the causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

#### (Handling off Deposited Articles)

- Article 15 The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to report its kind and value but the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 150,000 yen.
- 2 The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk. However, for articles of which the kind and value has not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 150,000 yen.

#### (Custody of Baggage and Belongings of the Guest)

- Article 16 When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front

desk at the time of his check-in.

- 2 When the baggage or belongings of the Guest is found left after his check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and for further instructions. When no instruction is given to Hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
- 3 The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the Preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

#### (Liability in Regard to Parking)

- Article 17 The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot/

#### (Liability of the Guest)

- Article 18 The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through the intention or negligence on the part of the Guest.

#### Attached Table No. 1

Calculation method for Accommodation Charges, etc for Hotels (Ref Paragraph 1 of Article 2, and Paragraph 1 of Article 12)

Total Amount to be paid by the Guests		Contents
	Accommodation Charges	1 Basic Accommodation Charge(Room Charge)
	Extra Charges	2 Meals and Drinks 3 Other Expenses
	Taxes	a. Consumption b. Meals and Hotel Tax

#### Attached Table No. 2

Cancellation Charge for Hotels(Ref.Paragraph 2 of Article6)

Contracted Number of Guest	Individual	Group
	1 to 14	More than 15 people
Date when Cancellation of Contract is Notified		
No Show	100%	100%
Accommodation Day	80%	80%
1 Day Prior to Accommodation Day	20%	20%
9 Days Prior to Accommodation Day		10%

#### Remarks:

- The percentage signifies the rate of cancellation charge to the Accommodation Charges.
- If the contracted number of days is shortened, a cancellation charge of 1 day (the first day) will be charged, regardless of the number of days shortened.
- When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled, the cancellation charge shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 10 days prior to the occupancy (when accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date) with fractions counted as a whole number.

## 利用規則

当ホテルではお客様に安全かつ快適にご滞在いただくため、宿泊約款第 10 条に基づき、次の通り利用規則を定めておりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

この規則を遵守いただけない場合は宿泊約款第 7 条により、宿泊またはホテル内諸施設のご利用をお断り申しあげ、かつ責任をおとりいただくこともございますので特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

### 火災予防上お守りいただきたい事項

1. 廊下及び客室内では暖房用、炊事用などの火器及びアイロン等を持ち込みご使用なされないでください。
2. ベッドの上など火災の原因となりやすい場所で喫煙なされないでください。
3. その他火災の原因となるような行為をなされないでください。

### 保安上お守りいただきたい事項

1. ご滞在中お部屋から出られる時は施錠をご確認ください。
2. ご滞在中や特にご就寝の時はドアの内鍵、ドアガードをお掛けください。  
来訪者があった時は不用意に開扉なさらず、ご確認ください。万が一不審者と思われる場合は直ちにフロント(ダイヤル9番)へご連絡ください。
3. ご来訪者と各室内でのご面会はお遠慮ください。

### 貴重品、お預り品のお取扱について

1. ご滞在中の現金、貴重品はフロントにお預けくださるようお願いいたします。  
上記手続きをおとりにらずに、現金、貴重品の滅失、紛失、毀損、盗難等によって生じた損害については賠償いたしかねる場合もございますのでご承知ください。
2. お忘れ物、遺失物の処置は法令に基づいてお取り扱いさせていただきます。

### お支払いについて

1. ホテル内のレストラン、バーなどをご署名でご利用になる場合は必ず客室の鍵又は「ご確認証・KEYCARD」をご提示ください。

2. 都合により到着時にお預かり金を申し受けることがございますのでご了承ください。
3. お勘定は7日以内でも当ホテルから請求があった場合にはお支払いください。
4. ご宿泊日数を延長なさる場合は、それまでのお勘定をお支払いください。

### お止めいただきたい行為

1. ホテル内に他のお客様の迷惑になるようなものをお持込みになること。  
(犬、猫、小鳥、その他の動物、火薬や揮発油など発火性または引火性のもの、悪臭を発するもの、著しく多量の物品、その他法令で所持を禁じられているものなど)
2. ホテル内でとばくや風紀、治安を乱すような行為や高声、放歌、ラジオやテレビの高音など他のお客様の迷惑になるような言動をなさること。(宿泊約款第5条および神奈川県旅館業法施行条例第4条の規定に反する行為)
3. ホテルの許可なくホテル内で広告物の配布や物品の販売などの行為をなさること。又客室を宿泊以外の目的にご使用になること。
4. ホテル内の設備、備品を所定の場所以外に移動させたり、用途以外にご使用になること。
5. ホテルの建築物や諸設備に異物を取付たり現状を変更するような物品を窓側に陳列なさること。
6. 窓から物品をお投げになること。
7. ホテル外から飲食物の出前をお取りになること。
8. ゆかた、スリッパ等で客室以外のホテル内各施設をご利用なさること。



## USE Regulations

---

To ensure your safety and comfort, and in accordance with Article 10 the Hotel Law, we have established the following rules with which we hope you will co-operate.

As is stipulated under Article 7 of the Hotel Law, guests may be held responsible for the results of their actions or may be asked to leave if they break these rules.

### Fire Safety

1. Appliances such as portable heaters or stoves are prohibited within the Hotel.
2. Smoking in bed or any other place where there is a fire hazard is prohibited.
3. Please avoid any action which might cause an accidental fire.

### Room Security

1. When you leave your room, please check the door to see that it is locked properly.
2. When you are in your room, please make sure the door is locked, and the doorguard is in place. Please be particularly careful of this before you go to sleep. Should a visitor knock on your door, please ascertain who is there before opening. If you are bothered in any way, or worried about someone who is at the door, please dial 9 for assistance.
3. Please avoid bringing visitors to your room.

### Valuables and Items Deposited with the Hotel

1. During your stay, please deposited money or valuables with the Front Desk. The Hotel will not always be held responsible for theft or loss of money or valuables not deposited with the Front Desk.
2. Items left behind in the Hotel will be dealt with according to the law.

### Payment of Bills

1. When you wish to sign for the bill in a restaurant or bar in the Hotel, please show your room key.
2. A deposit may be required at the time you check into the Hotel.
3. Please pay your bill at least every seven days. The Hotel may request

earlier payment.

4. If you decide to extend your stay, please pay all bills due.

### Prohibited Behavior

1. The following items are prohibited in the Hotel:
  - a) animals or birds
  - b) items with a strong, offensive odour
  - c) ignitable or inflammable material
  - d) material of great bulk
  - e) any item prohibited by law
2. Gambling or other immoral behavior is prohibited in the Hotel. Anything, which might bother other guests, such as singing or talking loudly is also against the rules.
3. Activities such as the distribution of advertising materials among other guests without permission are prohibited. Likewise, hotel guests are prohibited from using their rooms as offices or for other business activities.
4. No equipment in the Hotel may be moved from its proper location or used for a purpose other than that for which it was intended.
5. It is prohibited to make any change in the Hotel's existing conditions by installing any other object or processing the structures and accommodations.
6. It is prohibited to put any object near the windows in such a way that the exterior appearance of the hotel might be spoiled.
7. Throwing any object from the window is not allowed.
8. It is prohibited to have food or beverages delivered from outside the Hotel.
9. Slippers and yukata (kimono gown) should not be worn outside of your Hotel room.

# 非常の際の安全に関する案内書

---

## 防災の手引き

安全のためのご案内です。  
ぜひお読みくださいますようお願い申し上げます。

### お客様へのお願い

このたびは、当ホテルをご利用賜り厚くお礼申し上げます。お客様の安全確保につきましては、常に万全を期し完璧な防災体制を整えておりますが、念のため、この手引きをご一読いただき、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

支配人

### お部屋にお着きになりましたら……

- ・入り口のドア内側の緊急避難図で、非常口を2ヶ所以上確認して下さい。
- ・非常口へは、どのお部屋からも2方向の避難路が用意されていますので、実際に歩いてお確かめ下さい。
- ・なお、火の元にはくれぐれもご留意下さい。特に、ベッドでのご喫煙はご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

### 火災を発見された場合には……

- ・ダイヤル9を回し、すぐフロントへ通報して下さい。
- ・大声で周囲の人にも知らせて下さい。
- ・煙または臭いなどで火災と思われる場合も、すぐフロント(ダイヤル9)へ連絡して下さい。

### ホテル内で火災が発生した場合には……

- ・非常放送により、火災の発生をお知らせします。
- ・ホテル従業員が、安全な場所へ誘導しますので、落ちついて避難して下さい。

### 避難される場合には……

- ・お部屋から外へ出る際は、延焼防止と煙の拡散防止のため、必ずドアをお閉め下さい。
- ・タオルを水で濡らし、鼻と口を覆って下さい。
- ・壁にそって姿勢を低くし、煙の反対方向の避難階段を選んで進んで下さい。
- ・一度避難されてから、貴重品などを取りにお部屋にもどることは、危険ですから絶対におやめ下さい。

### 地震が起きたら……

- ・館内放送の指示に従って下さい。
- ・窓ガラスから離れて下さい。
- ・落下物に注意し、頭を保護して下さい。
- ・タバコの火はすぐに消して下さい。
- ・エレベーターは絶対に使用しないで下さい。

# Fire and Earthquake

---

## Precautions

FOR YOUR PERSONAL SAFETY PLEASE READ THIS LEAFLET

### Dear our guests:

Welcome to our Hotel.

We are always preparing ourselves to provide against emergencies for the safety of our guests. As a precaution, we request you to read the following and take note of them.

Thank you for your cooperation.

Hotel Manager

### Upon your arrival at your room:

- Take a look at the chart on the inner side of the door and make sure the locations of at least two emergency exits.
- Each room has two routes leading to emergency exits. Please make sure these directions.
- Please be careful about the potential cause of fire. Particularly, we request you not to smoke in bed.

### If you should notice a fire breaking out:

- Call the front desk (Dial 9) immediately.
- Alert the occupants of other rooms nearby.
- Also call the front desk (Dial 9) immediately when you smell or see smoking like a fire.

### If a fire breaks out within the hotel:

- Our emergency announcement within the building will give an alarm for a fire.
- As we will lead our guests to the safety place, please follow us calmly.

### When you have to escape from a fire:

- Do not forget to close the door when get out from the room in order to prevent smoke and flame from spreading.
- Cover your mouth and nose with a wet towel.
- Walk in crouch or crawl along the wall and proceed toward an emergency staircase free of flames.
- Do not use the elevators.
- Do not get back to your room again for searching your valuables, etc, after fled to the safety place.

### If an earthquake occurs:

- Obey instructions we will be broadcasting within the building.
- Keep away from the windows.
- Danger overhead, protect your head.
- Put out cigarettes immediately.
- Do not use the elevators.

